



第91号

令和2年(2020年)

5月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

令和2年度一般会計予算を可決

新規事業から見る古賀市の方向性 2～5p

令和2年度の
施政方針を問う！————— 6～7p

第1回定例会
主な審議・補正予算、賛否一覧————— 8～10p

第1回臨時会、一部事務組合報告————— 11p

10年後の古賀市は？————— 12～13p

新型コロナウイルス対策会議————— 14p

ここが聞きたい！一般質問————— 15p

常任委員会報告————— 16～18p

政策推進会議————— 19p

古賀市議会



前年度比2億5,369万円の増

令和2年度一般会計予算

216億860万円の予算を可決

令和2年度当初予算を、3月9日、11日、12日、16日、19日の5日間にわたり、特別委員会を設置し審査しました。

新規に取り組む事業から見る古賀市の方向性

古賀駅周辺整備	3,900万円
新規事業者拠点形成	2,628万円
企業誘致促進	983万円
観光情報発信	978万円
多文化共生推進	460万円
産前・産後子育て支援	13万円
私立保育園運営支援	14億4,901万円
中学校大規模改造	4,400万円
青少年相談	37万円
人権啓発	330万円
総合計画管理事務	1,560万円
生活困窮者就労準備支援	267万円
環境負荷低減意識啓発	40万円
小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援	64万円
東京オリンピック・パラリンピック機運醸成	44万円
行政庶務事務	841万円
歴史資料企画展示	23万円
消防施設改良	1,934万円
水道事業情報発信	30万円

(千円以下は切り捨て)

災害情報のデジタル化

災害現場から直接データベースに情報を送り、最新の被害想定に基づくハザードマップをデジタル地図上に表示し、迅速かつ効率的に災害情報の発信ができるようになります。

水道ビジョンのワークシヨップ

無作為抽出した18歳以上の市民に案内状を送り、申し込みがあった中から50人の委員を選出し、水道を取り巻く現状を共有しながら、今後の水道事業の方向性を議論します。

古賀駅東口のこれから

令和3年度の都市計画決定をめざし、2年度では整備計画案(区域・まちづくり方針・公共施設・計画図など)の作成、計画道路の見直しをする業務を委託します。



古賀駅西口にぎわいを

西口エリアの課題認識を持つ市民・関係者に、専門家の知見を加えた組織を立ち上げ、既存の空き店舗等を活用した拠点を創ります。専門家委託料1628万円、拠点形成補助として1千万円を計上。



古賀グリーンパーク周辺の市場調査

道の駅整備の検討で得られた「観光・物産と情報発信の拠点機能が重要」とした課題解決と、コスモス館の機能強化を図る目的として、企業誘致を推進するための井水、市場性調査を行います。

産前から産後まで寄り添う支援

助産師、保健師、管理栄養士、保育士の専門職が2名で家庭を訪問し、妊産婦の心と体をサポートします。



古賀北中学校の大規模改造工事

築20、38年の校舎を安心して学べるよう整備。これを契機に各学校のトイレも多目的トイレを含めた全面改修を進めます。



第5次総合計画に向けた活動

若い世代の視点や考察などの意見を反映するため、連携協定を結んでいる4大学(福岡学院看護大学・九州産業大学・福岡工業大学・福岡女子大学)の学生による政策提言グループワークを実施します。

マスメディアを使った積極的な情報発信

古賀市観光協会、観光案内所、パンフレットなど既存の情報発信に加え、マスメディアを積極的に活用し、認知度の向上、観光・産業の活性化を促進します。

保育士が働きやすい環境を

新たに雇用する保育士の宿舎借り上げの家賃・共益費を月額上限5万円まで補助します。



LINE活用で相談しやすく

従来の電話・メール相談に「LINE相談」を加え、早期に対応できるようにします。受付時間は毎週月曜日9時～16時。周知方法は、QRコードが入ったチラシを学校に配布。

小児・AYA世代のがん患者に寄り添う支援

小児、AYA世代(概ね15～40歳未満)の末期がん患者と家族の負担軽減のため、訪問介護、福祉用具等の費用を補助。



令和2年度 古賀市会計別予算

各表中の金額については、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。(千円以下切り捨て)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	216億860万円	213億5,491万円	2億5,369万円の増
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	2,408万円	2,085万円 322万円の増
	国民健康保険	61億356万円	60億6,438万円 3,917万円の増
	後期高齢者医療	8億2,691万円	7億8,661万円 4,030万円の増
	介護保険(保険事業)	42億1,669万円	39億9,607万円 2億2,061万円の増
	介護保険(介護サービス事業)	3,727万円	3,657万円 70万円の増
総計	328億1,713万円	322億5,941万円	5億5,771万円の増

公営企業会計		前年度比		前年度比	
水道事業会計	収益的収入	11億5,846万円	205万円の増	資本的収入	363万円 2,417万円の減
	収益的支出	10億3,898万円	79万円の減	資本的支出	5億5,716万円 7億2,152万円の減
下水道事業会計	収益的収入	20億5,748万円	814万円の減	資本的収入	10億6,520万円 2億8,946万円の減
	収益的支出	19億8,329万円	7,250万円の減	資本的支出	17億1万円 4,075万円の減

市長質疑

宮地岳線跡地 定住化、税収確保の構想を

奴間 健司

詳細設計に入る際の地域の合意の考え方は、

地域を代表する方にご了解をいただいたと捉え得た時に、私の責任で合意を得たと理解する。

対話集会は合意を取り付ける場ではない。宅地化を含む整備をした方が合理的ではないか。

詳細設計の中で整理する。指摘は理解する。対話集会ではなく討議会で合意形成を。

市民討議会はご意見として受け止める。

古賀駅東口 10年先を見通したビジョンを

奴間 健司

10年、20年先を見通した独自性は何か。

ウォーカーブル推進都市、地場産業共生、リーパ

スプラザがとつながったまちづくりを図る。

太陽光と蓄電池による気候変動緩和と災害時

適応エリア、食と医療の提供エリアの構想を。

持続可能性を意識する委員の提案は大切。

人権意識調査票を職員が配布

内場 恭子

人権に関する市民意識調査票を無作為抽出2

千人に市職員が戸別訪問し、直接配布する必要性があるのか。

人権問題解決の責務と使命感の再確認のため。

2人組での配布は業務に影響はないのか。市民

は「個人が特定された」と感じるのでは。

業務に影響はない。

配布には多くの時間を要する。また「個人の

特定」と感じる市民もいる。

予算審査特別委員会

委員長報告 井之上 豊

「新型コロナウイルス感染症対策」の中での予算審査

今回の予算の特徴的なものは、消防費で防
災情報システム改修委託(ハザードマップの
電子化)1155万円。防災行政無線(移動
系)デジタル化工事4840万円。土木費で
は、西鉄宮地岳線跡地土地利用整備事業費4
477万円、古賀駅周辺整備事業費3900
万円等があり、また教育費では、青少年相談
事業費でLINEを使った相談窓口37万円等
があった。委員会では、2人の委員より3つ
の市長質疑が行われた。



論 討 賛 成

論 討 反 対

一 般 会 計

賛成 田中英輔

2019年の日本の人口は前年度に比べ43万人減少した。古賀市では緩やかな増加が見られているが、少子化、高齢化は進んでいる。健康施策、子育て支援、学校教育などは評価するが、予算執行ではこのような状況を十分に踏まえ、各種施策が進められるよう求め賛成する。

賛成 村松謙二

地域公共交通網形成計画の策定に関し、現状は課題が多く利便性が悪い。高齢者や通学者など当事者の意見を反映することは期待。新型コロナウイルスの感染拡大により実体経済に悪影響が出ている。国や県、商工会や金融機関とも連携し、中小零細企業への支援も検討すべき意見を述べて賛成。

賛成 清原哲史

同和地区活動助成金に対し意見を述べる。部落差別の現実には、無くなるどころか、むしろ陰湿なっている。同和对策審議会答申、部落差別解消推進法にも行政の責務が明確になっている。部落差別がなく、活動助成金を受けなくてよい日が、一日も早く来ることを願う。

賛成 伊東洋子

産前・産後子育て支援事業、生活困窮者就労準備支援事業など、市民の不安な思いに寄り添う支援の充実、計画策定に幅広い市民の声を活かす取り組みを評価。一方で学校図書館の図書費が連続して減額、職業紹介所のシステム改修見送りなど、サービスの低下になる削減は残念。

賛成 吉住長敏

同和地区活動助成の約426万円に憂慮。補助金等検討委員会の廃止答申を尊重すべき。民生委員50万円、保護司会34万円、シニアクラブ283万円と比べても透明性、説明責任が果たされていない。時代の変化に対応する自治体運営で、この継続固定は抜本的に見直す時機と判断。

賛成 奴間健司

2030年に生存できる地域社会構築に向け、次の4重点課題に着手することを強く求める。①切れ目のない健診体制の構築、対処から予防への転換による健康戦略②コミュニティソーシャルワーカー配置等の地域戦略③新型コロナ対策を含む危機管理④市民討議会着手による市民参画。

反対 内場恭子

市独自で人権市民意識調査を予定しているが、職員の配布は、「個人を特定される」と懸念され問題。同和地区活動補助費426万円は公正な使い方ではない。市役所に分別収集特設会場を設置とのことだが、古布回収がない。保護者負担軽減も不足。災害時避難所の体育館の冷暖房対策もない。

特別会計

公営企業会計

住宅新築資金等貸付事業 賛成 内場恭子

同和对策特別事業で約12億円を貸し付け、約1億円以上返済が残っている。1日も早い完済が求められるが返済の進まない人も多い。国・県の住宅新築資金等償還推進助成事業補助を活用していくことに期待。

国民健康保険 反対 内場恭子

県単位の国保の広域化で古賀市も非常に厳しい状況。令和2年度の保険料は上がらないが、来年度以降の県納付金額によつては国保税引き上げも予測される。短期証・資格証の発行もあり問題だ。

後期高齢者医療 反対 内場恭子

県の後期高齢者広域連合の保険料は高く負担。令和2年度保険料は一部軽減措置の8.5割軽減が段階的に戻され、実質的に負担増になる。

介護保険 反対 内場恭子

国の制度改正で要支援1、2が日常支援総合事業となり、市からの財政負担。ヘルス・ステーションの設置も、介護予防対策も不足。

水道事業 反対 内場恭子

福岡地区水道企業団との協定で受水量を変えられない。安価な北九州市水道用水を利用し、水道料金を安くしてほしいが実現できていない。

市長の政治姿勢や政策の内容について各会派が問う！

施政方針質疑

自由クラブ（松島 岩太・渡孝二・福崎 トビオ・中野 敦史・内平 晃二）

施政方針について

議員 JR古賀駅周辺開発を通して、ふるさと古賀をどのようなまちにしたいのか。

市長 中心市街地の活性化は、税収に関わる問題であり、居住機能を加え、人口増という視点が大事。また中心市街地が活性化しないと、市全域が元気になるしと考える。

さらに観光物産の拠点機能を付与することは、本市の企業の成長にもつながると考える。

議員 私たちのまち「ふるさと古賀」に対する情熱の根幹となる想いが伝わってこない。長年、古賀の懸案事項であったJR古賀駅周辺開発を「石にかじりついてでも、岩に爪立ててでもやり遂げたい」という迫力が伝わってこない。そのふるさとに対する深い愛情に基づく情熱が施策にどう関連しているのかを説明する必要があると考える。次に、市職員との信頼関係の構築について、質問する。

市長 職員との信頼関係を築くことは非常に重要と認



識をしており、さまざまな場面で、職員と対話の場を持つよう心がけ、風通しの良い環境をつくると同時に、今後とも、信頼関係をより深めることができるよう、努力をしていきたい。

議員 「私が」「私が」という姿勢をこれからも続けるようであれば、ともに取り組んでいる職員との信頼関係を構築していくことは難しいと考える。予算編成方針の1項目目が「市長公約を意識すること」とあるが、リーダーとして如何なものか。

路傍の石たる市長の姿勢を求める。

公明党（井之上 豊・平木 尚子）

市長の施政方針に問う

議員 市議会議員の提起・市民からの意見・要望を強く意識とは。

市長 令和2年度予算案策定にあたり、市議会議員の提起、市民からの意見・要望を振り返り策定したものと確信する。

議員 校内通信ネットワーク整備事業と災害時情報共有の関係は。

市長 直接は関係ないが、インターネットを通じて防災情報はいつでも見られるようになっていく。

議員 SDGsを柱とした環境関連の啓発事業をどう進めて行くのか。

市長 第2次古賀市環境基本計画の後期実施計画に基づき施策を展開していく。



吉住 長敏

SDGs時代に似合う古賀グリーンパーク

議員 施政方針に森林の2文字がない。10年かけた植樹1万本、育林に5千人が参加した古賀グリーンパーク森づくりは、持続可能な施策展開に円熟した土台。山の日などに活用してはどうか。

市長 SDGsの視点から森林環境譲与税や山の日等の活用で多面的な森林整備に意義がある。



友和（森本 義征・清原 哲史・奴間 健司）

施政方針に対する代表質疑



議員 新型コロナウイルス感染症対策について。

市長 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対応策の検討を行い、主体的な対策を講じている。市民からの相談対応は予保健診療が窓口。

議員 公共施設等総合管理計画の個別施設計画の策定について。

市長 公共施設の延べ床面積を40年間で20%削減することを達成するため年度内の個別施設計画策定をめざす。

議員 地球温暖化に起因する気候変動とその適応策について。

市長 SDGsの視点を取り入れた啓発事業を展開する。

議員 第5次古賀市総合計画での基本構想とアクションプランの2層構想について。

市長 新たな試みであるため、令和2年度からこの構図を強く意識し行政の継続性を担保した計画の円滑な移行をめざす。

その他の質疑

スポーツ地域振興計画、防災力の強化策、選択と集中による予算配分、公共交通体系の取り組み等。

施政方針を問う

市民クラブ（古賀 誠視・村松 謙一・紙谷 由香）

施政方針を問う



議員 新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されたが、感染防止と市民周知の対策は。

市長 予保健診療を窓口にも市民相談を実施。公共施設の一時休館や行事の中止。感染症対策などホームページで市民周知を行っている。

議員 学童保育所に希望者は全員入所できるのか。特にシングルマザー、ひとり親世帯の子どもの入所は最優先に。また、利用料金は。

市長 希望者全員入所の体制は整えた。住民税非課税世帯及び就学援助世帯は無料とする。

議員 スポーツ施設利用料金の説明会が開催されたが、ジュニアスポーツ団体と時間をかけて協議を進めるべきだ。

市長 一定の時間をかけ、理解と納得をいただけるように協議する。

議員 地域公共交通網形成計画を策定とあるが、市長が考える古賀市公共交通の考え方は。

市長 高齢者などにも移動手段が確保され、利便性が高く持続可能な交通体系の確保を図る。

山海会（田中 英輔・伊東 洋子）

誰もが安心して暮らせる古賀市へ

議員 生活困窮者就労準備支援事業の取り組みは。

市長 引きこもりや長期未就労による生活リズムの乱れなどの理由で就労が困難な人に、基礎能力の形成や就労体験などの支援を行っていく。

議員 妊娠前から安心して子育てできる環境整備は。

市長 産前から保健師など専門職による家庭訪問を行い、トータルにサポート。

議員 保育士不足解消の施策は。

市長 保育士の家賃及び共益費の一部を補助し、働きやすい環境を整備。

議員 地域防災力の強化は。

市長 自助・共助の実効性、防災情報活用の利便性を高め強化。



内場 恭子

SDGsの実践とは何か

議員 具体策は何か。

市長 持続可能な未来を築く市の取り組み全てSDGsの実践。新型コロナウイルス感染症での学童保育措置は貧困対策。

議員 質の高い教育や貧困対策を深めて、子どもの未来を守りたい。



故 中村 哲医師を古賀市名誉市民に

本市の発展、公共の福祉の増進または文化の発展向上に貢献し、その功績が顕著で深く尊敬に値するものとして選定へ

主な審議

第1回定例会
(2月26日～3月25日)

第1回定例会

古賀西小学校の卒業生である中村哲医師は小学1年生から20代後半まで当時の古賀町で過ごされました。昭和59年にパキスタンのペシャワールに赴任し、ハンセン病を中心とした貧困層の診療に携わり、平成12年からは「100の診療所より1つの用水路を」の思いから医療活動と平行して、干ばつに被災したアフガニスタンで水源確保事業を開始しました。

井戸事業では平成18年までに井戸1,600カ所を掘削し、かんがい事業では平成22年福岡県朝倉市の「山田堰」を応用した全長25km

(現在27km)のマルワリード用水路を完成させ、令和元年までに16,500haをかんがいし65万人の生活を保障するなど、公共の福祉への大きな貢献をされました。

母校である古賀西小学校の課外授業や人権セミナーでの講師を務めるなど、本市の文化・教育の発展向上にも大きく貢献されました。

本会議賛成全員同意



広報こがまち1997年9月号 中村哲医師の特集記事より

公共施設マネジメント推進審議会設置



今後40年間で公共施設の延べ床面積の20%削減を目標として、今後の10年間を見据えた個別施設計画を審議。

付託▷ 総務委員会 賛成 可決

賛成全員
可決

市営住宅の入居要件の変更

単身高齢者の増加等市営住宅を取り巻く状況の変化を踏まえ、「連帯保証人」に関する規定、「市町村税の滞納がないこと」の規定を削除し、セーフティネットとして機能の強化。

付託▷ 総務委員会 賛成 可決

賛成全員
可決

低所得者の介護保険料の軽減

令和元年10月の消費税率引き上げに合わせた低所得者の第1号保険料軽減強化が令和2年度以降に完全実施。消費税率10%の間は引き続き適用の見込みになります。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成 可決

賛成全員
可決

あすなろ教室への通級対象者の拡大



これまでは市外へ通学する小・中学生は対象外だったが、市内に住む全ての児童・生徒が通級可能になりました。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成 可決

賛成全員
可決

小・中学校内通信ネットワーク整備へ!

校内高速大容量通信ネットワーク整備に伴う学校教育施設等整備事業費の増加

文部科学省より「GIGA スクール構想」が示されており、生徒1人1台端末を前提とした校内通信ネットワークの整備として

2億7,270万円

補正予算
(3月9日)

第1回定例会

平成31年度古賀市一般会計補正予算(第5号)

補正 1,167万3千円を減額 総額 224億2,839万6千円



プレミアム付商品券交付金

△1億4,500万円

住民税非課税者の申請が見込みより少なかったため



西鉄宮地岳線跡地土地利用整備事業費

△6,430万9千円

予算に対して補助金交付額決定に伴う土地購入費の減



農業経営安定化事業費

1,489万1千円

台風17号で被災した農業用施設復旧に伴う補助金の増



浜大塚線整備事業費

△7,915万8千円

交付金減に伴う橋台背面工事費および物件補償金等の減

平成31年度古賀市一般会計補正予算(第6号)

補正 600万円を追加 総額 224億3,439万6千円

保育園等の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援

市内12カ所の保育園等に1施設当たり50万円以内で子ども用マスク、消毒液などの一括購入等や保育所の消毒に必要な経費を補助する。(幼稚園、介護施設は福岡県が対応)



特別会計

住宅新築資金等貸付	852万8千円	総額	2,938万4千円
国民健康保険	1億9,949万8千円	総額	63億2,657万6千円
後期高齢者医療	△91万6千円	総額	7億8,810万円
介護保険(保険事業)	△363万3千円	総額	40億4,461万3千円
介護保険(サービス事業)	537万7千円	総額	4,233万2千円
水道事業(収益的収入)	△3,454万6千円	総額	11億2,686万6千円
水道事業(収益的支出)	△5,313万4千円	総額	10億244万9千円
下水道事業(収益的収入)	△7,867万6千円	総額	19億9,933万8千円
下水道事業(収益的支出)	△5,347万2千円	総額	20億1,848万円

一般会計
賛成全員
特別会計
賛成全員
可決

令和2年 第1回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期: 令和2年2月26日～3月25日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トシオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明
3	専決処分（保育所業務遂行上の過失に係る損害賠償）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	古賀市公共施設マネジメント推進審議会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	古賀市国民健康保険財政調整基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	古賀市森林環境譲与税基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	古賀市部落差別をはじめあらゆる差別の解消と人権擁護に関する条例の制定	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	古賀市基本構想審議会条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	古賀市部設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	古賀市営住宅条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	古賀市介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	古賀市適応指導教室条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	古賀市生涯学習センター条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	古賀市印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	古賀市水道事業給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	古賀市下水道条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	令和2年度古賀市一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	令和2年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	令和2年度古賀市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	令和2年度古賀市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	令和2年度古賀市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	令和2年度古賀市水道事業会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	令和2年度古賀市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成31年度古賀市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成31年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成31年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成31年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成31年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成31年度古賀市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成31年度古賀市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	古賀市と福津市の間における古賀市汚泥再生処理センター海津木苑（仮称）の建設及びし尿処理に関する事務の委託に関する規約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	古賀市名誉市民の選定	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	平成31年度古賀市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否一覧

議長職のため、表決に参加しない

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

主な審議

第1回臨時会

(2月10日)

古賀市民の健康づくりの今後はどう続く？ 「クロスパルこが」の管理とこれから

市の施設の管理者を指定期間の満了に伴って、地方自治法の規定により応募者の中から審査を行い、改めて令和2年4月からの管理者を決定します。

1号
議案

古賀市健康文化施設「クロスパルこが」の管理者はどこに

新たに「西部ガス興商グループ事業体」が指定管理者となり、指定期間は令和2年4月1日から3年間です。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

2号
議案

補正予算 「クロスパルこが」指定管理料

令和2年度から令和4年度までの委託に要する経費の総額を追加しました。



本会議
賛成全員
可決

令和2年 第1回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和2年2月10日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トシオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
1	古賀市健康文化施設の指定管理者の指定	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	平成31年度古賀市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

一部事務組合報告

議長 結城弘明

粕屋北部消防組合

令和2年2月25日第1回定例会を開催。令和2年度一般会計予算、休日診療予算および補正予算を審議。一般会計では歳入に分担金、古賀市約6億5000万円、新宮町4億2000万円。主な歳出は97人分の人件費および指令運用委託費等。歳入歳出総額約11億3200万円を賛成全員で可決。休日診療所では歳入歳出約2700万円を賛成全員で可決。



消防組合視察 岡崎市レッドサラマンダー

玄界環境組合

令和2年2月20日第1回定例会を開催。平成31年度補正予算は、工場運営費等の減約4500万円を総額約28億5500万円を賛成全員で可決。令和2年度予算では公民館類似施設事業交付金として5000万円を基金より繰入など歳入歳出約29億6100万円を賛成全員で可決。

古賀高等学校組合

令和2年2月14日第1回定例会を開催。歳入歳出約5億9300万円を可決。

北筑昇華苑組合

令和2年2月13日第1回定例会を開催。歳入歳出約2億9400万円を可決。

10年後の古賀市は？ 市民の声を身近に

第5回 議会報告会

令和2年2月1日（土）リーパスプラザこが多目的ホールにて議会報告会を開催しました。多数のご参加、誠にありがとうございました。いただいたご意見、これからの古賀はどうあるべきか？の市民の声を報告します。

総務関係の意見

持続可能な社会

「10年後の未来を語ろう」がテーマだが、人口減少や社会的要求も変わってくる中、持続可能か心配。

↓人口減少への歯止めや、市の魅力を増す取り組みをし、それらを発信していく。

公共交通に関して

公共交通は何とかならないか。

↓今年度だけでも、バスの利用客が延べ1万5千人減。市は、公共交通網形成計画を策定中。

防災に関して

小・中学校の屋上が避難所でない場合、ソーラーパネルなどの設置が考えられるのではないかな。

↓設置の話もあったが、経費と費用が見合うかどうかを考えた時に、積極的に進めていく検討には至っていない。

文教厚生関係の意見

子育てに関して

小学校で必要な教材のリサイクルについてはどうなっているのか。

↓「数のおけいこ」は学校で共通に使用できるようになっている。それ以外は学校によって異なる。学校のトイレの臭いが気になる。

↓学校の長寿命化計画が始まり、ほぼ10年かけてトイレの洋式化も進められる。

介護に関して

現在の高齢化率と10年後の高齢化率はどうなるのか。

↓10年後には26〜27%くらいと推定。現在は部分的に40〜50%の地域がある。

健康に関して

子ども医療費をもっと充実してほしい。できれば無料に。

↓一般質問でも要望している。

議会報告会

市民建産関係の意見

道路整備に関して

西鉄宮地岳線跡地の将来は。

↓それぞれの地域で車道、歩道、住宅地など要望は違う。現在は了承の得られたところから設計に入っている。市民アンケートは5年位前に取っている。

企業誘致に関して

玄望園はどうなるのか。

↓自動車関係、物流関係の企業を誘致している。

駅前開発に関して

駅前開発で、西側はどうなるのか。

↓ニピシ醤油株式会社との協定以外はまだ決まっていない。都市計画を早期に決め進めるよう要望している。

JR古賀駅の東西分断は。

↓エスカレーター設置など、いろいろな案を考えている。



議会報告会 幹事会

会長 井之上豊

令和2年2月1日
(土) 15時よりリーパス
プラザこが多目的ホー
ルで開催しました。

今回は、「10年後の古賀市」をテーマに開催し、56人の方々が参加され、多くのご意見を伺うことができました。内容は例年通りでしたが、多くの市民の方に参加していただき大変感謝しています。残念ながら高校生は諸事情で参加されませんでした。参加者より多くの意義ある意見を伺い、今後、議会活動にいかしていきたい。



古賀市にあった公共交通の充実を

公共施設の名前がわかりにくい



公共施設の利用料を安く

駅東口開発は反対。市民の意見の公表してほしい

住宅街に中小の工場が点在している。集約して跡地を公園に



若者のがん検診の受診率向上を



移動図書館を実現してほしい

風情がある薬王寺温泉。魅力ある「温泉のあるまち」として発展できないか。古賀にはインターチェンジがあるので、他県からどんどん泊まりに来てほしい

サンコスモ古賀にも議会の中継ができれば



大根川をきれいに、堤防を散歩道に

駅東の開発より交通アクセスの強化を

20〜30代の子育て世代定住のため、もっと考えてほしい



農業法人を増やそう

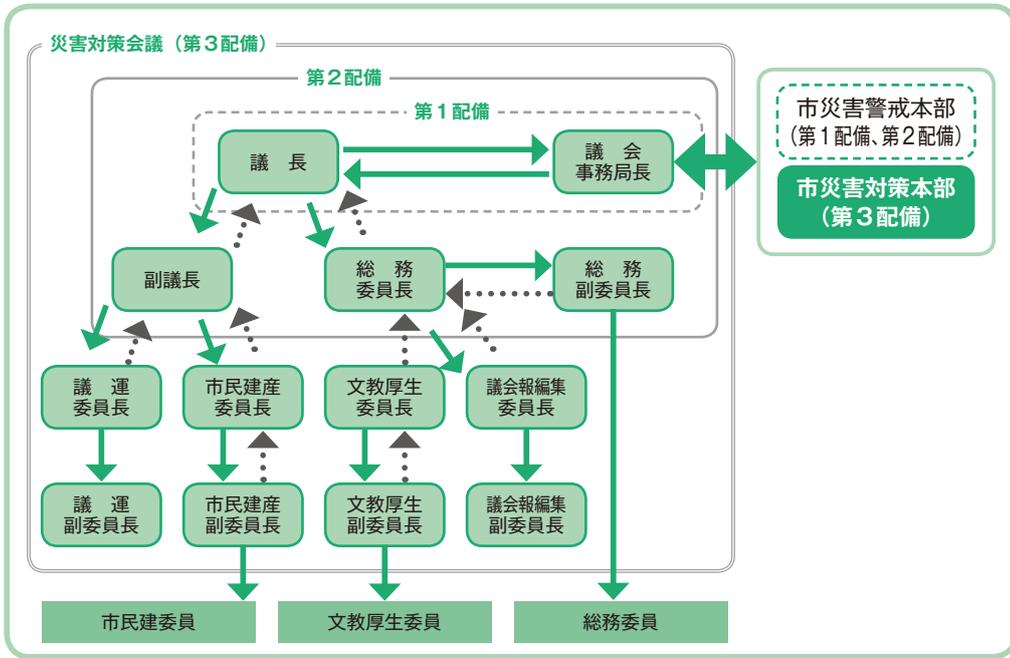


駅前開発で、人気チェーン店の出店があるのか、どのような店が出店するのか？



新型コロナウイルス対策会議

今回、新型コロナウイルスが発生し、議会が、「古賀市新型コロナウイルス感染症対策本部」と連携し、市民の安全の確保および早期の対策に適切に対応するために設置。



古賀市議会災害対応の主な内容

※議員の役割

対策会議が設置されたときは、必要に応じて、被災地、避難所において情報収集を行い対策会議へ報告。

※事務局職員の役割

市対策本部の会議等に参加し情報収集に努め、対策会議へ情報提供する。

◆今回は、学校、学童、企業などの状況などの情報提供により、改善や強化も図られました。

災害発生時のと議会審議の関係

ケース1	告示前1週間くらい
ケース2	告示（初日1週間前）
ケース3	初日の本会議 二日目の本会議
ケース4	委員会
ケース5	一般質問
ケース6	最終日の本会議

ケース4 委員会審査～一般質問前

A) 本会議が継続できる場合

- ※1、通常通り継続する
- ※2、委員会審査は可能（今回）
一般質問は省略する。
（会議規則第44、45条）

→今回は委員会審査は可能でしたが、対策会議の方針に沿い、市民の生命・健康の保護、市民生活の維持・確保に協力するため、一般質問の通告者10人のうち、9人が一般質問の取り下げを行いました。

対策会議設置について

議長 結城 弘明

古賀市新型コロナウイルス対策本部の設置を受け、3月2日古賀市議会新型コロナウイルス対策会議を設置しました。

第1回対策会議では会期の変更・一般質問について「議員の大切な権利であるが、この困難な時、行政とともに感染拡大防止に行動することも大事である」と合意。苦渋の判断の中、この方針に沿い、9人の議員が一般質問を取り下げました。

古賀市議会ホームページ

議会トピックス

新型コロナウイルス対策会議も含めた議会の活動や情報を公開しています。

ここが聞きたい!

新型コロナウイルス対策会議の方針に沿って取り下げた9人の議員の通告届け出順と通告内容は以下の通りです。

古賀市民の生命・身体を守るためには	井之上 豊
①加齢性難聴者の補聴器購入に助成を ③西鉄宮地岳線跡地活用はどう進める	②学校給食のパンの安全を 内場 恭子
超高齢社会をいきいきと暮らすために	紙谷 由香
安全・安心・希望が持てるまちへ	田中 英輔
①市内運動施設の使用料及び減免基準の見直しについて ②主要農作物種子法廃止の影響は	伊東 洋子
①総合計画に必要なビジョンは ②令和2年度予算編成と財政運営について	村松 謙二
① JR 古賀駅西口の活性化策について ③郷土愛を育む学習について	②宮地岳線跡地活用の進捗は 福崎 トビオ
あらゆる立場の方々が安心して暮らせるようにするためには	平木 尚子
2030年目標～「誰一人取り残さない地域」を創る人の力～	奴間 健司

一般質問



吉住 長敏

西小裏市有地は白砂青松の開放を

答 環境美化と利用方針を定める

市所有松林の市民開放

議員 西小学校海側の荒れた市有地は市民が誇れる白砂青松の景勝地に相応しく計らうべき。

市長

3309㎡の現地は保安林に指定されていない。玄海国定公園第1種特別地域などのさまざまな制約がある。その状況下、当該地は周囲に比べブロック、フェンスで囲まれ荒れた状態にある。今後は土地利用方針を定め、環境美化に向けた取り組みを検討する。

清瀧水路を県文化財に

議員 江戸時代に築かれた薦野清瀧から福津市上西郷までの約5kmの命の水を育む水路は一自治体を越え、福津市とともに県文化財に持ち上げるべきでは。

教育長

古くから今に至るこの水路は周囲に恩恵をもたらしてきた歴史的、文化的価値が高い。市内の様々な文化財の調査研究の進

文化財所蔵等の今後

議員 可能性を研究していく。

議員

九州歴史資料館で調査解析中の特別史跡の船原古墳の遺物が古賀市に還る時機をにらんだ受け皿態勢はどう見据えているか。

教育長

船原古墳の調査完了時期は令和8年度末と見込む。その後、重要文化財指定を経て国宝をめざす。所蔵の仕方は多くの選択肢があり国県の指導をいただきながら遺物をどうするか、ふさわしいか検討していく。

古賀西小裏の元九州大学留学生寮



総務

委員会

1月28日

	委員長	内平晃一
	清原 哲史	吉住長敏
副委員長	井之上豊	
村松謙二	田中英輔	

投票時間の見直しを

問

選挙総括では、18時過ぎに投票に来た人もあり、周知が不十分。

投票時間の見直しも、今後の課題となるのか。

答

啓発は行っていくが、選挙管理委員会では、2時間の繰り上げは続けていきたいとの考え。

問

投票の権利を奪われた人もいる。続けたいというのであれば、投票できなかつた人の意見を聞き、選挙管理委員会に議論をすべき。調査もせず2時間繰り上げて行くのはおかしい。今後調査はするのか。

答

事務局で判断できることではない。選挙管理委員会にその旨伝える。

総務課

クロスパルコがの指定管理者再募集は

問

指定管理者の再募集は3社と聞いているが、現管理者が入っているのか。また、別の指定管理者となった場合は、料金体系を見直すのか。

答

現管理者は共同事業体を組み申請。利用料・使用料は条例で上限を定めており、その範囲内で市の同意を得てから、指定管理者が決めることになる。



人事課

自治会の未加入者対策は

問

自治会の未加入者対策は、職員が分担し地域に入り、自治会加入促進運動などに取り組む必要があるのでは。

答

自治会未加入者については、事務局としても苦慮しているが、令和2年度は「広報こが」にも、自治会加入の周知に関する記事を掲載し啓発したい。

コミュニティ推進課

個別補助金の在り方

個別補助金については、

答申の内容等を踏まえ、令和2年度中に協議を行い、令和3年度の予算に反映させる。

財政課

市民が利用しやすい公共交通を

問

西鉄バス古賀市内線の乗客が、9カ月で1万5千人を越す減となっている。現在の運行体制になつてから、最低の利用者数ではないか。これに対応は。

答

今年度に入り利用者の減少が大幅にみられる状況だが、運賃収入については大きな落ち込みはなく、ほぼ前年並み。

問

地域公共交通網形成計画策定が進められているが、実施計画までは時間がかかる。利用者を減少させない対策が必要。

答

増便や利便性向上にはすぐに取り組めない。普段、車を利用している人が、月に1回バスに乗れば、劇的に利用者数は伸びる。意識して乗っていただけよう啓発などを行い、公共交通の持続可能性を高めていく。

経営企画課

文教厚生

委員会

1月24日
2月5日

委員長 平木 尚子
副委員長 伊東 洋子
委員 奴間 健司
委員 福崎 トビオ
委員 松島 岩太
委員 紙谷 由香

学校の エアコン設置完了

問 空調の管理は。

答 空調の管理責任者は校長、教頭。全校で統一的な運用ガイドラインを策定。稼働条件を夏季は6月から9月で28度以上、冬季は12月から2月で20度未満を原則とする。中央管理システムとし、温度設定はプラスマイナス2度の範囲とする。

問 室内機の落下などの心配は。

答 災害等の際に落下することはないと考える。

教育総務課

GIGAスクール構想

これから先の、子どものICT活用能力を充実させる目的の事業。

問 具体的な事業内容は。

答 校内通信ネットワークの整備を行い、機器の更新費用や維持管理なども考慮して4年間で一人1台の端末の整備を進めていく。



学校教育課

運動習慣定着促進事業 (ケア・トランポリン)って

日本ケア・トランポリン協会の事業で、運動習慣の定着を目的として、介護支援課と連携して実施。

問 道具を必要としない事業でなく、ケア・トランポリンを選んだ理由は。

答 運動習慣のきっかけ作りであり、先行自治体での好評や、県からの周知によるもの。

実施状況については、1月16日～3月26日(毎週木曜日全11回)。参加者15人。トランポリンの反発力により、筋力強化、身体機能改善やフレイル予防、運動習慣定着につなげる、とのこと。

(※尚、今回は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、途中で中断。)

予防健診課

「寄って館」の事業状況

令和3年度から基幹型包括支援センターをサンコスモ古賀の中に1カ所、委託型包括支援センターは、中学校区ごとに1カ所の計3カ所設置します。

問 地域包括支援センターの今後は。

答 中学校区に配置することで、地域により近いところでの相談窓口の設置ができる。地域とのネットワークづくりにも力を入れていく。

古賀市地域包括支援センター
(サンコスモ古賀内) (直営)



介護支援課

市民建産

委員会

2月4日
2月6日

委員長 中野 敦史
古賀 誠視 渡 孝一
副委員長 森本 義征
内場 恭子 竹下 司津男

コスモス館について

問 売り上げ目標である5億円の手立てはあるか。

答 売り上げ・来客者数ともに減少を続けているが、グリーンパーク周辺整備と併せ機能強化したいという思いもあり、コスモス広場利用組合との協議を踏まえて現実的な目標として設定。



農林振興課

生物多様性 古賀戦略について

問 今後の推進については。

答 12月に製本が完成。古賀市の豊かな自然と生物多様性について知ってもらうことからスタートするため、第2回目の生き物観察会を千鳥ヶ池公園で開催の予定。



環境課

運動施設の 使用料について

問 減免基準の見直しについては。

答 利用者を対象に説明会を実施。青少年団体、スポーツ協会、行政区など関係者合計76団体111名が参加。さまざまな意見、指摘を踏まえ要望のあった資料などを準備したうえで再度説明会を開催する予定。



都市計画課

パートナーシップ 宣誓制度について

問 「古賀市パートナーシップの宣誓の取り扱いに関する要綱」を定めるに至った背景は。

答 法令上、結婚は男女でないこと認められておらず、性的マイノリティの人が社会生活について、さまざまな困難に直面し、偏見や差別等で苦しんでいる現状を鑑み、誰もがその人らしく人生のパートナーとして幸せな生活を送ることができるように要綱で定める。

問 パートナーシップと同性婚の違いによる戸籍や遺産相続などの権利問題については。

答 戸籍や遺産相続などの法律的なものは、パートナーシップ宣誓を行うとしても法的効力は無い。

人権センター

古賀市議会では多くの市町村から視察を受け入れています。
 (平成31年度は9自治体から、合計約100人を受け入れています。)
 毎回おもてなしの心を持って対応し、担当を決めて説明しています。
 令和2年1月から3月までの期間に、4自治体40人来ていただき、議会運営委員会が対応いたしました。

令和2年1月21日

災害時議会対応、

押しボタン式表決の導入

受入自治体…群馬県藤岡市
 受入団体…議会運営委員会
 受入人数…11名



令和2年1月30日

議会改革について

(議員問討議、報告会等)

受入自治体…埼玉県ふじみ野市
 受入団体…会派 青藍会
 受入人数…6名



令和2年1月31日

議会改革について

受入自治体…富山県氷見市
 受入団体…会派 自民同志会
 受入人数…7名

令和2年2月12日
 議会改革について

(議会BCP、大学との連携、

タブレットの活用)

受入自治体…埼玉県所沢市
 受入団体…議会運営委員会
 受入人数…16名

政策推進会議

老岐市の気候非常事態宣言を学ぶ



古賀市議会政策推進会議のテーマは「気候変動問題への対応」です。1月20日には、長崎県老岐市の小川和伸SDGs未来課長を講師に、「日本で最初の気候非常事態宣言」について学びました。

小川課長は、気候変動による取り返しのない事態を避けるために、宣言は重要な取り組みと強調。宣言の背景には、豪雨の頻発、藻場減少による水産業への打撃がありました。研修会には新宮町議会、古賀市環境課等も参加していただきました。

議会議務局紹介



職員の変動がありました。

異動

松岡 俊輔 (係長)

大変お世話になりました。今後も議会議務局での経験を活かしていきます。

異動着任

長山 淳 (係長)

円滑な議会運営となるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



市民活動がんばってます！

学術、文化、芸術、スポーツ、子ども

(前編)

今年も活動が難しい日々が続きますが、古賀市には多くの市民活動団体が登録されています。前後編に分けて紹介いたします。今回は「学術、文化、芸術、スポーツ、子ども」について活動している団体です。

21	太極拳(金)の会
20	すまいるファミリー
19	写団こが
18	古賀ひよっとこ愛好会
17	古賀市リズム体操協会
16	こが写遊会
15	古賀市民吹奏楽団 ハイドレンジア・プラス・ソサエティ
14	古賀市民オーケストラ
13	古賀市文化のまちづくりの会
12	古賀市フォークダンス協会
11	古賀市走ろう会
10	古賀市「第九」実行委員会
9	古賀市少年の船の会
8	古賀市史跡案内ボランティア
7	古賀市歩いてんD.O.好会
6	古賀子ども本の交流会
5	古賀郷土史研究会
4	古賀紙芝居サークル 「カチカチ会」
3	古賀アートフレンズ25
2	劇団DAICOON
1	ガールスカウト福岡県第31団

35	かづるっ子広場
34	公益社団法人 スペシャルオリンピックス 日本・福岡
33	特定非営利活動法人 古賀市文化協会
32	特定非営利活動法人 古賀市スポーツ協会
31	特定非営利活動法人 市民後見センターふくおか
30	特定非営利活動法人 子どもパートナーズHUGっこ
29	特定非営利活動法人 古賀新宮子ども劇場
28	リンパトリートメント アンシエイツ ボラボラリンパの会
27	リコーダーグループ アンダンテ
26	福岡ファミリーハウス支援 SHIPS
25	布おもちゃ「とまと」
24	男性料理教室メンズレシビ
23	たけのこ文庫
22	太陽の会

第1回定例会の傍聴者は4人でした。
ありがとうございました。
第2回定例会は6月11日(木曜日)開催予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。
ご利用ください。



古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



日曜	会議名
11 木	本会議(初日)
15 月	本会議(2日目)
16 火	常任委員会
17 水	常任委員会
18 木	常任委員会
19 金	補正予算審査 特別委員会
22 月	一般質問
23 火	一般質問
24 水	一般質問
26 金	本会議(終了日)

開議時刻は全て9時30分～

注) 会期日程は、6月8日(月)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)
◎請願書の締切りは6月4日(木)午後5時です。

令和2年 古賀市議会
第2回定例会会期日程(案)

会期 6月11日～6月26日 16日間

表紙の言葉

外出自粛が続いていても、季節はどんどん進んでいきます。一面の春色は、心を明るく暖かくしてくれます。

編集後記

「1期目は、勉強になるよ」と勧められ議会報編集委員になりました。委員の皆さんの指導のもと議会の振り返りもでき、一生懸命取り組んでいます。新型コロナウイルス対策で多くのイベントが中止になり市民の皆さんの楽しみも激減したことと思います。今回の定例会では、大切な予算審議もあり盛りだくさんでした。「市民の皆さんに分かりやすく」をモットーに作成しています。(紙谷)

議会報編集常任委員会

- 委員長 福崎トビオ
- 副委員長 平木尚子
- 委員 清原哲史
- 委員 内平晃二
- 委員 竹下司津男
- 委員 紙谷由香

